

## とやま

南砺通信部  
0763(52)0859  
FAX(52)8020

八尾通信部  
076(424)4141  
FAX(422)3191

北陸中日新聞

## 定置網をタイに普及

タイ・ラヨーン県で氷見伝統の定置網敷設に尽力した東南アジア漁業開発センター(SEAFDEC)訓練部局研修部長、アサニー・ムンプラジットさん(五十)が二十七日、氷見市役所を訪れた。堂故茂市長は市民表彰の「ありがとう賞」を贈り、氷見を元気づけた功労をたたえた。

アサニーさんは、二〇〇二年に氷見市で開かれた「世界定置網サミットin氷見」への参加を機に環境に優しい定置網のタイへの導入を計画。以来氷見市や東京海洋大の協力でタイ国内はじめ、東南アジア諸国での定置網普及推進のけん引役を務めている。

今回は定置網視察のため、SEAFDEC職員や東京海洋大、インドネシアのポゴール農科大、ハサヌディン大の各教授らと一緒に計十三人で二十六日から二日間、氷見に滞

東南アジア漁業開発センター アサニーさん

## 氷見へ貢献 市民表彰



「ありがとう賞」の盾を手に受賞を喜ぶアサニーさん(下段右から3人目)ら一行=氷見市役所で

在。同日の授賞式では受け、「技術指導の盾と記念品の日本画を かけて定置網の漁獲量

(美細津仁志)

も向上した。受賞は誇らしく、タイの漁業者にも受賞を伝えたい」と喜んだ。

懇談では、アサニーさんが現状について「定置網導入で一日平均七百~八百キが捕れ、従来の二倍となる一キ当たり三十一~四十四(一ガ=約三円)で取引されている」と報告。タイ水産局が氷見への視察派遣を希望しており、定置網敷設の本格導入の機運が生まれていることやタイ湾に面したマレーシア・トレンガヌでも敷設を希望していることなどを紹介。東南アジア全体が定置網に注目していることを強調した。

東京海洋大の馬場治教授は「国内の定置網の拠点として、氷見で定置網について話し合う場を設けてみてはどうか」と堂故市長に提案した。